

2012年7月6日

BMW グループが初めて「2012年グリーン・グッド・デザイン賞」を受賞

ミュンヘン発:

BMW グループの 3 つのモデル、BMW i8 Concept、BMW i3 Concept、および、MINI ロケットマン Concept が、持続可能な製品設計として権威ある「2012 年グリーン・グッド・デザイン賞」を獲得した。「グリーン・グッド・デザイン賞」は、「グッド・デザイン賞」を基礎として、2009 年に立ち上げられた。BMW グループにとって、今回が同賞の初受賞となる。「グッド・デザイン賞」は、世界で最も歴史が古く評価の高いデザイン賞として、1950 年に米国シカゴで建築家のエーロ・サーリネン氏、チャールズ&レイ・イームズ夫婦とエドガー・カウフマン・ジュニア氏により創設された。

「グリーン・グッド・デザイン賞」の最大な目的は、サスティナビリティに関するテーマと共に、現代のデザインに対する人々の意識を高めることにあり、審査委員は燃費性能や化石燃料への依存度が低い事などに注目している。この賞は、ヨーロッパ建築アート・デザイン都市研究センター(European Centre for Architecture Art Design and Urban Studies)とシカゴ学術振興協会建築デザイン・ミュージアム(The Chicago Athenaeum: Museum of Architecture and Design)の主催による。27カ国 120 点以上の製品、人々、政府、環境対策、建築プロジェクトが「2012 年グリーン・グッド・デザイン賞」として選出された。

BMW i8 Concept のデザインは、テクノロジーと美的な魅力との完璧な融合を体現している。弧を描くラインとフラットなシルエットは、このクルマに際立ってダイナミックな外観を与えていて。大きなウインドウとエアロ・ダイナミクス・デザインは革新的に軽量化された BMW i8 Concept に、遮るものない広い視界を実現している。BMW i8 のスポーティな特徴は、最先端のインテリア・デザインにおいても、表現されている。その中でも、徹底的なドライバー志向と再生可能材料の使用が注目に値する。

電力のみで走行する BMW i3 Concept は、大都市向けの未来モデルをダイナミックに具現化している。できる限り最小限のフットプリントで走りながら、未来的なワンボックス・デザインが広々とした室内空間を作っている。革新的な構造が、余計な物の無い空間を作り、自由で開放的な印象を与えている。

MINI ロケットマン Concept の外観はクラシック MINI からの伝統的な特徴を取り入れながら、革新的な自動車設計も加えている。「3 人 + 1 人乗り」で、3 ドアが付いていながら、全長は 3 メートル余りに抑えられている。革新的な都会のライフ・スタイルに相応しく、MINI ブランドの価値を最も純粋な形で経験できるモデルである。このプレミアムなセグメントに、優れた機能性、敏捷性と魅力的なデザインを備えた、新しい小型コンセプト・カーが、伝統的な MINI のアイデンティティーを継承している。

BMW グループ・デザインは過去にも、権威ある「グッド・デザイン・アワード」を受賞している。2011 年には、BMW 6 シリーズ ガブリオレ、BMW 6 シリーズ クーペ、BMW 1 シリーズ M クーペ、BMW ActiveE、さらに BMW Motorrad K 1600 GT/GTL および BMW Motorrad G 650 GS の 2 つのモーターサイクルが「グッド・デザイン・アワード」を獲得している。2010 年には、BMW 5 シリーズ セダン、MINI カントリーマン、BMW Motorrad S 1000 RR と BMW Concept 6 が受賞している。